

下田市街なみ環境整備方針説明書

都道府県名		静岡県	市町村名	下田市	区域名	旧下田町区域
区域現況	区域の概況		本地区は、伊豆急下田駅に接し、「旧町」「まちなか」等と呼ばれる本市の中心市街地を形成している。また、開国に関連する寺院や江戸期以降に建てられた歴史的建造物が点在し、商業地や観光地としてにぎわいを見せてきた一方、狭い幅員の道路沿道に多くの住宅が密集して建ち並ぶエリアでもある。 これまで、生活スタイルの変化や所有者の負担増加等により、一部で価値ある建造物が解体されているほか、商店数は減少し、このままでは空き家や空き店舗、空き地等による住環境の悪化や地域イメージの低下、あるいは、歴史的な街なみが損なわれることによる郷土愛の低下等が懸念される。また、来訪者は、了仙寺やペリーロードなど、一部のエリアへ集中しており、市街地内の回遊性向上やにぎわいの波及が課題となっている。			
	道路の現況		本地区は、周囲を国道 135 号と国道 136 号の幹線道路（幅員 18m の事業計画がある）が通っている。 地区内は、南北の幹線道路として幅員 12m の（都）平滑中村線（通称：マイマイ通り）が整備されているほか、東西の幹線道路として幅員 12m の（都）下田港横枕線が整備中である。その他の道路は、江戸時代の町立（都市計画）により形成された、碁盤目状で矢折れ（互い違いの交差点）の道路形態を成しており、幅員 5m 程度の細街路が多くなっている。また、一部、幅員 4m 未満の狭あい道路も見られる。			
	公園等の現況		本地区内には、都市緑地としてペリー上陸記念公園（0.07ha）が整備されているほか、みなと橋付近とペリーロード東端にポケットパークがあるが、全体的に公園・緑地等は少ない。ただし、マイマイ通りの西側を中心に社寺が集積しており、境内地が公益的な空地となっている。 また本地区に隣接し、都市公園である下田公園（26.5ha）が整備されている。			
	地区住民のまちづくり活動の概要		本地区内では、区（自治会）単位で定期的な清掃活動が行われているほか、一部地域住民がハンギングバスケットを用いた住宅敷地周囲の緑化に取り組んでいる。また、市都市計画マスタープラン策定を契機に発足した住民等の団体によって、大川端物揚場の活用実証実験や美化活動等が行われている。			
区域の整備に関する基本計画	整備の目標		地域住民が誇るなまこ壁住宅や伊豆石の蔵等の歴史的建造物の保全とともに、街なみと調和するよう道路等の公共施設を改善することにより、地域住民の旧下田町地区への誇りや郷土愛を育むとともに、人口減少を抑制する。 また、歴史・文化資源の活用や快適な生活空間の創出により、地域活力の創出や観光交流の活性化を図る。			
	整備の時期		平成 30～34 年度（5 年間）			
	地区施設等の整備に関する基本事項	道路・通路等	歩きやすく、歴史的な街なみの保全と快適な生活空間の両立を図るため、伝統的建造物やひもの横丁等をつなぐ市道須崎町原町河岸通線や市道大工町川岸通線、市道須崎町本町通線等において、道路の舗装面の改修等を行う。なお、改修にあたっては、歴史的建造物や街なみと調和し、かつ、配管工事等による部分的な補修に対応できるよう、デザインや素材等を工夫する。			
		その他	—			
	住宅等の整備に関する基本事項	住宅	旧下田町地区の歴史・文化（下田太鼓祭り）といった歴史性を意識した形態・意匠として、通りから外観が見える部分（看板類を含む）は、歴史的建造物等と調和した落ち着いたある配色となるよう誘導する。			
		敷地	通りに面して垣又は柵を設置する場合は、閉鎖感のあるものは避けるよう誘導して、圧迫感のない公共空間を創出する。			
	その他の事項（関連事項等）		本地区の歴史・文化を象徴する建造物を後世に継承するため、市歴史的風致維持向上計画における「歴史的風致形成建造物」の整備に要する費用を助成する。			

■街なみ環境整備方針図

